

令和3年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「国立血液研究センター医療機材整備計画」供与式の実施

令和5年1月13日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「国立血液研究センター医療機材整備計画」（供与限度額：92,772米ドル（10,019,376円））の供与式が、エレバン市に所在する国立血液研究センターにおいて行われました。本式典には、福島正則在アルメニア日本国大使、レナ・ナヌシャン・アルメニア保健省第一次官、サンヴェル・ダニエリャン国立血液研究センター長等が出席し、その他医療従事者約30名が参加しました。

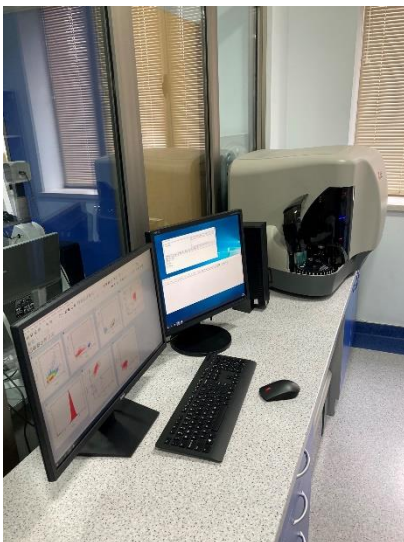
本計画は、エレバン市にある国立血液研究センターに医療機材を整備することで、血液癌検査の体制強化を図り、アルメニアにおける医療水準の向上に寄与することを目的としています。これにより、年間約400人の血液癌患者等が裨益します。



福島大使のスピーチ（左からナヌシャン第一次官、ダニエリャン・センター長、福島大使）



センター内の視察



供与されたフローサイトメーター  
及び専用パソコン



供与機材が整備された部屋